

# 白石市白峰会と登別山岳会との交流 、吾妻連峰五色沼・一切経山・浄土平登山

日程：平成25年10月11日～14日  
 参加人員：白峰山岳会—15名、登別山岳会—20名  
**大津波被災地慰霊地**：宮城県名取市閑上（ゆりあげ）地区、  
 宮城県亶理町荒浜地区  
**一切経山、浄土平登山行程**  
 13日7時40分：不動沢登山口発、大根森：9時55分発  
 五色沼展望台：10時15分、吹き通し上部：10時35分  
 ～11時25分：昼食、豚汁。コーヒーの接待、集合写真  
 一切経山（1949m）：11時50分、酸ヶ平分岐：12時30分、  
 浄土平駐車場：13時10分

白石市との姉妹都市交流30周年記念民間交流事業の一環として交流協会より援助を受け、苫小牧港を19時発のヘリーに20名（男性：11名、女性：9名）が乗船、仙台港に12日10時に到着、白峰会大齋会長以下4名の出迎えを受ける。今晚の宿小原温泉いずみやさんのマイクロバスで東日本巨大地震による大津波被災地の一つ、名取市閑上湊地区を訪ねる。

## 数人が命を拾った閑上神社 住宅地土台を残し全て流出



高さが7mは有る神社上まで津波が押し寄せ、この地区一帯の家屋は全滅、実際に被災地を目の当りに呆然高台の慰霊塔に線香を手向け、黙とうする。

次に伊達市の姉妹都市で有る亶理町荒波地区を訪問7・5mの堤防を越え、大津波が押し寄せ、地盤沈下と合わせ、プレハブの仮店舗は有るが、復興は緒に就いたばかり、津波の恐怖を目の当りにする。

## 仮店舗

## 流失中学校跡地



名物はらこめしの海仙食堂にて昼食を摂る。

## 名物はらこ飯

## 美味しく戴きます



亶理市役所支所にて大津波語り部ワッタリの会の安藤さん、岡崎さんに津波記録DVDを解説付きで見せて貰う。死者：305名、ガレキ：179トン、小学校等避難者850名、3m余の津波が押し寄せ、一階は水没、幸い小・中学生徒に死亡者無し。



## 慰霊碑に黙祷、

## 災害危険区域には新築ダメ



災害危険区域に指定されると、其処には新築はダメ、改築は良いとの事、3建が改築し残っていた。

多少の保障はあるとは言え、これからどうするのかわが身に置き替え、身に詰まされた。

立派な鳥の海温泉ホテルも4・4mの津波が押し寄せ、1階は被災、44名が取り残されたが救助される。

荒浜地区だけでも151名の尊い命が失われたとのこと、慙愧に堪えない、心から御冥福を祈ります。

小原温泉いずみやホテルに17時15分に到着。被災地訪問は気疲れがした、交流会までの時間各自温泉で疲れを癒す。 交流会場



## 旧交を温め、親交を深める



10月13日（日）ホテルを5時20分出發、国道4号線を一路南下、行く手を虹の出迎えを受けながら、福島吾妻裏磐梯線を色付いたリンゴ園を眺め、高湯温

泉街を抜け不動沢登山口に向かう、登山口7時20分に到着。準備を整え、7時40分出発。



紅葉を愛でながら



気持ちいいね



ハイ！笑顔が映える



がんばるぞ



紅葉が盛り、



私も負けないわ



見事な紅葉を愛でながら、登りはキツイね



良く整備された登山道だ、磐梯朝日国立公園内の道だ  
少し汗ばみながら、開けた台地に到着

大根森（饅頭頭が似合い）見晴らしよし



仲よし笑顔で、



全員でハイパチリ



10時15分五色沼展望台に到着、巨岩が鎮座



家形山の分岐と



歓迎の幟（裏からごめん）



五色沼西側切り通し上風の当たらない場所で心温まる  
豚汁とホットコーヒーの接待を受け、感激。



強い風と少しキツイ登りを一切経山(1949m)



頂上は強風の為、早々に下る。

吾妻小富士、

酸ヶ平分岐（12/30 到着）



一切経山は活火山



スカイラインは車渋滞



浄土平駐車場13時10分到着、登り車線車が高湯付近まで大渋滞、白石市役所前で解散式、来年の再開を約し、別れを惜しむ。仙台港17時20分到着、見送りに来てくれた三名と別れる。19:30 発のフェリーに乗船、14日苫小牧港11:00 到着、より交流の絆が深まり、来年は暖かく向かえる決意を新たにす。世話をされた澤田氏、藤木（た）さんに感謝、山仲間乾杯だ。満足の4日間でした。

記 近藤